

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiku/index.html>

第 1 報
千葉県農林水産部
令和7年5月22日

4月植えは茎数がやや少ない傾向です 生育状況をよく確認し、中干しを適期に行いましょう

[生育概況]

気象状況は、4月の第1半旬は気温が平年より低く、第2半旬以降は高く推移しました。第5半旬以降は、気温は平年並み、日照時間は全体的にやや少なくなっています。

4月20日頃に植えた水稻の生育は、草丈が並～やや長く、茎数は並～少なくなっています。一方、5月植えは草丈がやや長く、茎数が多い傾向です。

表 1 品種別の生育状況（5月20日現在）

品種	植付時期	平年比※		
		葉令の進み	草丈	茎数
ふさおとめ	4月20日	並	やや長	少
ふさこがね	4月20日	並	やや長	やや少
コシヒカリ	4月20日	並	並	並
	5月1日	やや早	やや長	多
粒すけ	4月20日	やや早	並	やや少

※平年比は過去10か年（2015～2024年）の平均値との比較。

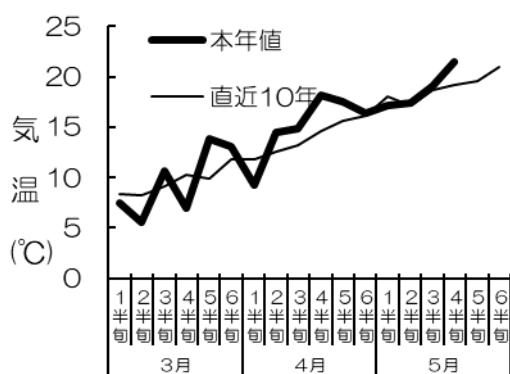


図 1 日平均気温の推移（アメダス、佐倉）

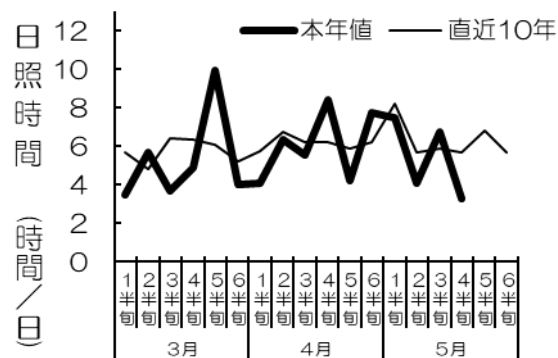


図 2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

[これからの管理のポイント]

■ 生育に合わせた水管理を

4月植えて茎数が少ないほ場では、浅水管理で茎数を確保しましょう。

気象庁の1か月予報では、気温が高い見込みです。生育状況をよく確認し、目標茎数に達したら速やかに中干しを実施しましょう。中干しは、過剰分げつを避ける重要な管理です。適正な茎数確保に加え、根の活性を高めることで登熟向上や倒伏防止につながります。

表2 品種別の中干し開始時期の目安

品種	植付時期	中干し開始目標茎数		
		砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	4月20日	480本/m ² (27本/株)	480本/m ² (27本/株)	440本/m ² (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/m ² (20本/株)	360本/m ² (20本/株)	360本/m ² (20本/株)
コシヒカリ	4月20日	320本/m ² (18本/株)	310本/m ² (17本/株)	300本/m ² (16本/株)
	5月 1日			
粒すけ	4月20日	472本/m ² (26本/株)	440本/m ² (24本/株)	

※（ ）内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安。

極端な疎植の場合はこの目標茎数に達しないことがある。

■ 病害虫の適期防除

病害虫発生予報第2号（農林総合研究センター5月14日）によると、スクミリンゴガイの発生量は「多」、イネドロオイムシ・イネミズゾウムシは「並」、いもち病は「やや多」の予報となっています。いもち病の発生に備えて、補植用の置き苗は早めに処分しましょう。病害虫発生予察情報は、千葉県農林総合研究センター病害虫防除課ホームページ（右：二次元コードより）をご覧ください。



○スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

スクミリンゴガイは、九十九里沿岸部を中心に被害が発生しています。本年は活動が早まっており、思わぬ集中加害を受ける可能性があるため注意してください。防除対策（右：二次元コードより県HP参照）では、初期の食害を避けるため、浅水管理や薬剤防除を実施します。



■ イネばか苗病の抜き取りのお願い

本田でイネばか苗病が発生し放置すると、収量などに影響するほか、胞子が飛んで周りのほ場の苗にも伝染します。特に、採種ほ場の周辺で本病が発生すると、その採種ほ場では種子としての出荷ができなくなる場合があります。優良な種子の供給に支障をきたす恐れがあります。



稲作農家全体に関係する問題ですので、本病の発生が見られたら、出穂前までに罹病株を株ごと抜き取り、田んぼから離して埋設処理するなど新たな感染源とならないよう防除をお願いします。防除対策等は右の二次元コードより県HPを参照ください。

■ 還元障害（ガス沸き）に注意

水はけの悪いほ場や、大雨で稲わらが寄ってしまったほ場では、温度が上がると稲わら等が急激に分解して還元障害が発生し、分げつが抑制されることがあります。その場合には、速やかに落水して土壌中のガスを抜き、根の活力を高めましょう。

あなたの田んぼは **平ら** ですか？

均平 からの総合防除

らせん上部の長さが



ジャンボタニシ対策は均平から！

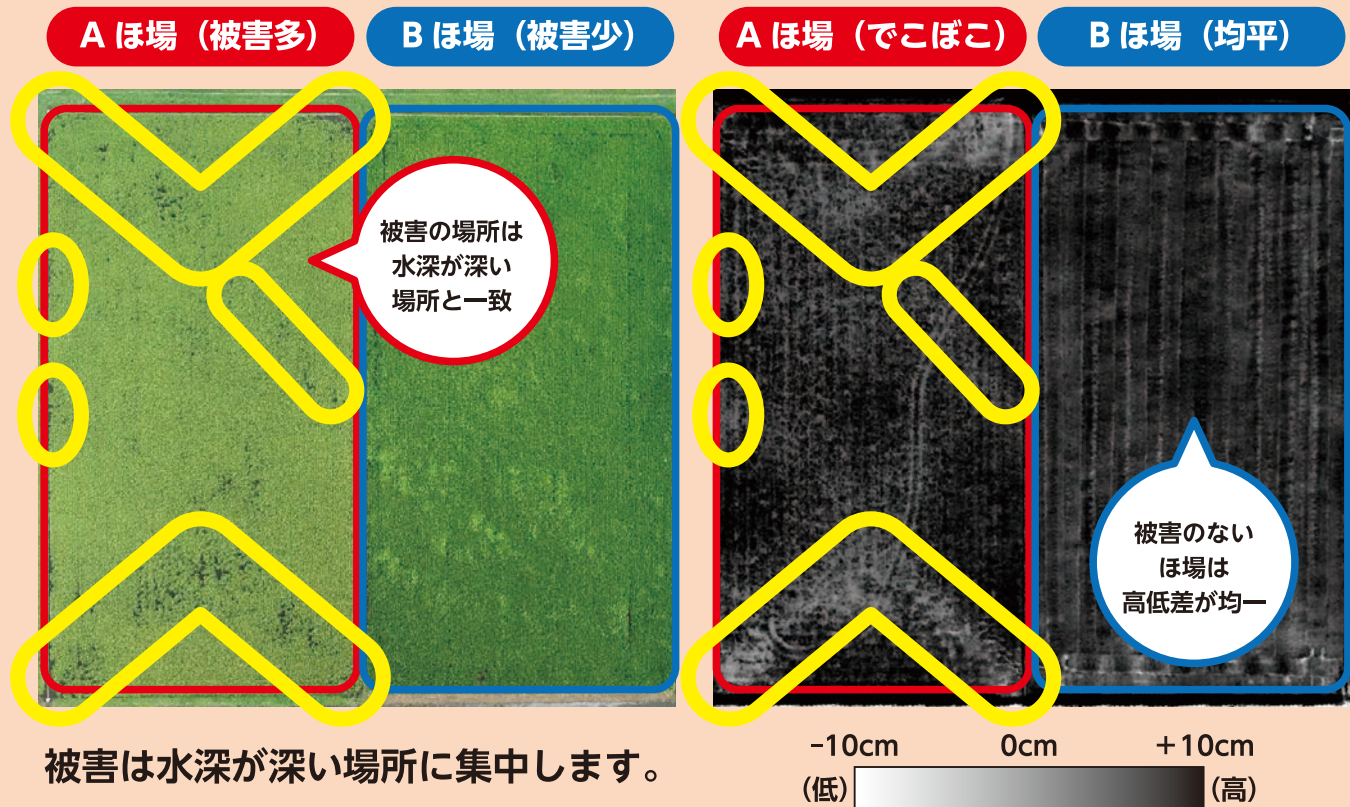


貝がいても、隣に大発生のお場があっても、お場が均平なら被害はゼロ！

あきらめずに、**STOP!** ジャンボタニシ被害！

千葉県

特に均平による浅水管理がオススメ！



どうしてV字模様に深くなるの？

コンバインの使い方が均平度に影響を及ぼしている場合があります。

V字模様は収穫後の田面にあるコンバインの操作跡に酷似！

4辺を刈り取る方法では、クローラーの切り返し部分は低くなり、刈り始めには稲わらが落ちず土が固まってしまう。

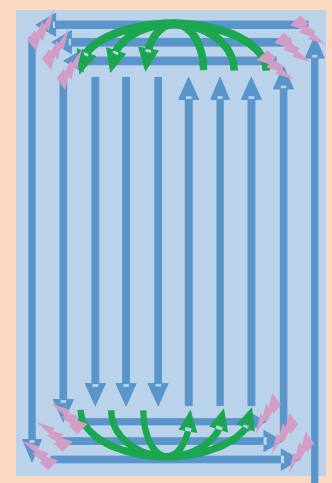
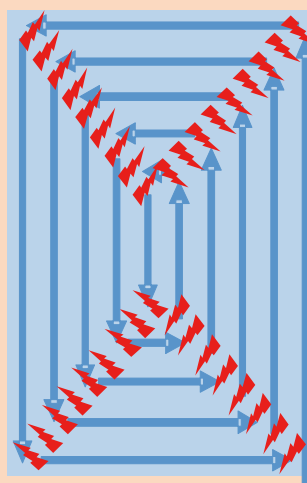
一方、切り返しを減らす方法では、特定の部分の土が固まったり沈んだりせず、ほ場全体が均平になりやすくなります。

日ごろの作業を丁寧に行うことも有効です！



4辺を刈り取る方法

切り返しを減らす方法



- 刈り取り作業
- ↺ 乱暴な切り返し
- ↻ 切り返さず旋回
- ↻ 穏やかな切り返し

どうやって均平にする??

水を張った時や、田植え後1か月程度の被害がよく見える時に、水深が深くなる場所を記録しておきます。

冬期にレーザーレベラーや、フロントローダー、整地キャリアなどを使って、高いところから低いところへ土を移動させます。



レーザーレベラー



フロントローダー



整地キャリア

仕上げて、代かき時に水深を確認しながら均平にします。

ただし、水を張った状態だと思ったより土は動かず、また、土を練りすぎてしまうため、部分的な土の移動にとどめます。



代かき整地

均平はメリットばかり

均平にすることで、肥料や除草剤の効きが均一になります。

生育が揃い、作業効率が上がります！
水管理もラクになります！

ジャンボタニシの被害が出ていてもいなくても

浅水管理をするためにはまず均平から！

均平なほ場では浅水管理ができなくても被害が少ない傾向があります。
生育ステージが進むにつれて食害は目立たなくなります！

均平+αの対策の組み合わせが基本!

早植え

○ジャンボタニシは気温が上昇すると活動を始め、柔らかい小さい苗（4葉期まで）を食害します。移植時期を早め、苗を早期に大きくしましょう。

浅水管理

○水深が浅いと貝の活動が抑制されるため、田植後約3週間は水深を4 cm以下（理想は1 cm）に維持しましょう。

田植時・田植後の農薬散布

○メタアルデヒド粒剤（例：スクミノン、ジャンボたにくん、メタレックスRG粒剤）、
燐酸第二鉄粒剤（例：スクミンベイト3、スクミンブルー）等の登録薬剤のいずれかで、
殺貝や食害防止を図りましょう。

○農薬の使用にあたっては、必ず農薬登録内容（ラベル）を確認してください。

○水温があがり（15℃以上）、貝が触角を出して活発に動いている姿を確認してから散布しましょう。

○苗が5葉期以降になると、食べられにくくなります。それまでの間、浅水管理をしたうえで、貝の発生が多い場合は農薬を併用して食害を防ぎましょう。

ジャンボタニシ防除対策事業

環境農業推進課では、ジャンボタニシの防除に取り組む地域に対して支援を行っております。

①食害防止（トラップの設置や均平作業等） 1,000円～15,000円/10a（取組により異なる）

※レーザーレベラーによるほ場均平化（15,000円/10a）は、
令和6年10月から追加した支援メニュー（原則委託のみ）です。

②冬期の耕うん 1,000円/10a

③水路の泥上げ 500円/m

④地域独自の対策（化学合成農薬以外の農薬散布（スクミンベイト3等）や
ボランティアの活用等） 3,000円/10a 新規追加メニュー

補助には要件があるため、下記のお問い合わせ先や、お近くの市町村までお問い合わせください。

お問い合わせ

農林水産部環境農業推進課 043-223-2888

または、所轄の農業事務所まで

水稻生育予測システム 「でるた」

現場で使える水稻生育予測アプリ



スマートフォン
で簡単操作！



穂が出る田んぼ
が分かる！



品種と移植日から
作業目安を予測！

MENU

水稻生育予測システム「でるた™」
アメダス茂原

品種を選択

移植日を選択

「粒すけ」4/20移植の生育予測
(7/20までの気象データより)

幼穂形成期 : 6/23
出穂期 : 7/18

この予測から推奨される作業時期

追肥 : 6/30
斑点米カメムシ類対策
畔草刈り : 7/4まで
防除1回目 : 7/21
防除2回目 : 8/2
収穫 : 8/25

〔 連絡先 〕

千葉県農林総合研究センター水稻温暖化対策研究室
(TEL : 043-292-0016)

詳細は
こちら



<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaita/system/delta.html>